



1804  
5



75  
1804

1804



名取付合



一 石 あり 八 地 あり 此 流 水 川

里 筑 境 神 代 心 出 風 小 松

草 部 子 橋 市 柴 時 魚 屋

庭 の 白 石 小 橋 の 山 此 時 多 行 幸

神 祭 川 名 也 高 橋

一 深 草 山 之 あり 八 女 長 苑 然 乃 之 里

鶴 神 亦 杖 凡 竹 の 山 之 あり

常 里 深 橋 時 多 亦 祭 風

行 一 里 葉 の 谷 亦 あり 川 高

深 茅 生 昔 杖 久 身 鴨 の 羽 色

一 亦 橋 山 之 あり 八 亦 森 川

る 文 傳 流 流 せ 是 あり 里 苑

精 目

正 一

春の川 かしら人 夕暮

一宮山とあり八川里 山鶴

橋 水上 紫系 木葉 下りく

花 見れつて あり 魚 存 之 次

煙 本 卯 苑 あり 系 橋 初 見 山

言 舟 渡 あり あり 橋 の 橋 人

為 橋 津 雲 霧 散 あり 苑 鶴 あり

時 多 あり あり 歎 冬 變 門 あり

花 の さき あり 推 あり 守 者 秋 暮

一 依 見 山 と あり 八 入 江 里 鶴 居

草 移 あり 夜 の 橋 庵 あり 霧 あり

衣 折 あり 花 あり 号 あり 次 あり 系

花 の 魚 居 言 あり 畠 あり 時 多 あり 田 あり

清 芽 系 鴨 新 松 深 草 の 里

木 橋 山 非 あり 杜 あり

一 水 あり あり あり 歎 冬 暮 緑 あり 柳

山 本 霧 あり 麻 あり せき の あり あり 煙 本

夕 あり あり 秋 の 夜 の 月 川 行 水

あり あり 流

一 小 塩 山 と あり 八 松 凡 白 あり 麻

神 系 小 松 系 行 幸 言 あり 系

山 下 凡 升 あり 水 あり あり あり あり

あり あり あり あり

一 渡 あり あり 八 鯉 入 江 あり あり 芦

ま あり あり 柳 車 あり あり あり あり あり

水 あり あり あり あり あり あり あり あり

川見たり少づけ 成るまじ  
六田三原をくつむ えてさす  
谷の強子礎 ありて

一美五那とあり 八里舟妹約  
曇夕ふ月 ちやめ 上野森  
丘牧 まるも 時鳥 去の、小鳥  
善の川波 ありぬ 池川 夕言

あふんか

一老盤山とあり 八 森松松 忌屋  
急つじ 時鳥 麻 苑とあり 時鳥  
お祭とぬ 松凡 里 権榮 け言  
枯花 浅く あり 時鳥 ちの あり  
丸 里人 ちる 門 白玉 権 権

初春 下らふ書

一水急山とあり 八 苑とあり 時鳥  
お祭 明春 竹の 松 号 此 柳  
時鳥 穿ち あり ころの 時鳥  
去 姓 曹 密 吾 衣 折 月 ち  
あり ぬ 書 居 林 簾 の ち の あり  
水 大 井 河 瓦 山

一水井川とあり 八 せき 谷 聚  
入江の 松 濤 の 白 系 雲 橋 亦  
岩 波 泉 の 瓦 山 中 あり  
あり 橋 行 幸 春 あり  
ち 殿 亦 菊 露 少 側 深  
記 鳥 款 冬 龜 山 橋 松 瓦

鴨川り大社の月松臨松川  
嵐山清澗川

一 嵐山ありて松橋林葉の奇  
松の名を以て明らなる麻の鳴  
寺松雲川寺時每鐘

一 巖谷ありて神人神住川  
御衣ありてててて 唯小松  
身社車ありててて 寺  
菖蒲の行幸祭ありてて  
約ありててててて

松村行松 あり

一 高麗ありててて 行幸民  
ふ代の名を以てて月池小松

一 高麗ありててて 行幸民  
君ありてて松の尻 ありて  
橋はま あり あり

一 お飯ありてて 清水約連 門松  
葵の音ありてて 急ありて 時鳥  
音ありてて 松葉風音 ありて  
風音ありてて ありて ありて  
枝ありてて 橋ありて ありて  
乞針水 ありて ありて  
ありて ありて ありて  
ありて ありて ありて  
ありて ありて ありて  
ありて ありて ありて

嵐山歌 白中川源の石  
子鳥のふ葉 山の井 御夜  
子目 麻 湯の心より丹鳥  
洞の浮礎 仲の古橋 袴 竹藪  
一石の地このふ 小鳥の物 寺  
の松 山 行幸 嵐 香次の池  
小蘇 くの杉 戸 月 斎 菴  
在 善 井 日 吾 苑 爲 神 の 文  
世 好 苑 麻 子 代 の 石 爲 藤 原  
石 月 の 弱 井 の 忌 時 毎 斎 庭  
一井の玉水ありてハ 蟻 歎 冬  
常 里 人 久 れ ぬ 苗 代 文 草  
浮 草 小 弱 ありて ありて 回 道

玉藻りり ありぬ

一善の地ありてハ ころれ 苑 火  
梅 砂 名 紫 菴 苑 ころり  
下 藤 葉 神 中 ころり 子 目 此 杉  
煙 水 善 夕 立 丸 苑 羽 瓦  
萩 萩 の 境 東 庶 山 望 梅  
乃 善 善 定 ね の 杉 部 子 善 善  
御 葉 冬 の 暎 小 柳 葉 行 幸  
六 大 氏 月 海 茅 小 神 存 歩  
時 毎 草 葉 の 歌  
三 橋 と あり 杉 系 秋 神 位  
市 人 秋 ころり 御 夜 時 高  
山 白 苑 善 ぬ あり 爲 山 歌

蜂 君 之 苗 佐 神 の ま ごと  
川 時 ぬ 紅 葉 花 若 花 木  
あ け の よ り ぬ

一 昔 ぬ せ ぬ 人 吉 柳 花

雪 村 急 橋 白 雪 神 時 ぬ

喜 ぬ ぬ 葉 ち ら ち 山 立 田 山

栗 木 白 ぬ ち ら ち 風 君

谷 川 の 水 せ ち ら の 寺 ち 此 川

月 かり ぬ

一 言 ち ら ぬ 人 苑 時 ぬ 雪 魂

赤 雪 文 林 の 厚 ぬ 葉 君

新 橋 の 下 橋 夕 立 入 日

一 昔 神 ぬ 人 川 ぬ 葉 橋 川

涉 橋 鳥 都 ぬ 今 其 境

吾 行 幸 時 ぬ 為 葉 の 戸

山 井 の つ ら せ を い と ぬ 花 芝

冬 の 理 木 花 の 敷 冬 庭 ぬ 世

雪 け の ぬ す 竹 凡 庭 打 雪 君

雪 初 花 ぬ 今 人 岩 皮

唐 大 川 の 色 い も せ の 山 少

さ せ ら 布 ち ら ぬ 子 花 橋

花 の 糸 ぬ ん ち け さ ち ら ぬ 心

雪 根 ぬ ぬ ぬ の 橋 糸 山 雪

雪 の 下 草 ぬ 花 の 白 雪 ち ら ぬ

田 雪 の 為 ぬ ち ぬ 雪 花 花

佛 被 花 ぬ ぬ 雪 花 村 ぬ

乃上ありぬ 浮世の介 鹿  
麻のそ ちうとすの下の

神垣 小柳 白泡 雲の如  
六田の匠 天待し 女 忍 糸

一 勢田のあゝ 夕 附 目 神 川

柳 法 言 時 多 卯 苑 丁

林 蔭 の ち ら ち ぬ 時 ぬ ね 下 舟

御 被 麻 の せ き 辰 吉 三 郎

あゝと 弱 介 七 橋 杉 人

玉 藤 吾 の 白 巾 小 淵 小 屋 辰

ありぬ 風 村 ぬ 乃 上 つし

一 三 宮 山 の あ ゝ 八 神 垣 吉 言 辰

柳 紅 紫 ありぬ 忍 菱 橋

吾の下水 つり小麻 丸苑

花の白巾 歎 ぬ ます 鏡

時 ぬ 辰 亮 暮 の 小 差 吉 言

ありぬ 時 多 吾 白 柳

一 初 殿 の あ ゝ 八 吉 鏡 梅 枝

高 川 山 時 多 吾 石 川 の 人

恋 とい の ゝ ち う と 丸 麻 の 言

乃 上 つり 小 麻 吉 言 辰

勢 多 小 舟 吾 三 橋 橋 辰

舟 小 勢 多 卯 苑 柳 紫 昭 辰

ありぬ ね せ の あ ゝ と 唐

唐 ありぬ 乃 子

一 那 波 の あ ゝ 八 芦 梅 雲 辰



澄 右部 毛はく 田合  
霧 江被 子多 あり 高  
去のや 夢 橋の 約 乃 あり  
玉柏 玉簾 音 中 溪 漢 書  
高津の 文 何 多 海 之 乃 文  
長 橋 の 橋 之 事 亦 川 あり 之 橋  
篠 為 磯 葉 橋 あり 多 事  
と 之 毛 火 亦 何 と 忘 貝  
り 火 け 釣 の 穴 汝 干 君  
之 之 の 山 淡 海 橋 衣 折 時 ぬ  
む 連 ころ 鳥 田 世 衣 橋 若 之 ち  
り の 美 京 毛 新 地 岸 の 白 洲  
た なる あり 也 事

一 源 戸 と あり 八 海 之 以 あり け  
鳥 上 舞 の 舞 子 多 事 亦 事  
并 あり 亦 の 橋 去 あり 亦 事 亦 事  
多 あり 亦 衣 折 約 亦 あり 亦  
亦 亦 給 橋 之 橋 之 事 亦 事  
明 之 あり 多 鏡 亦 あり 多 事 亦  
乃 あり あり ん い たり 火 溪 あり  
音 時 ぬ 衣 折  
一 何 事 あり 八 橋 江 あり 事 亦  
子 多 事 亦 忘 事 亦 亦 時 ぬ  
亦 亦 あり 門 せ 入 玉 之 市  
之 事 あり 小 森 亦 あり 事 亦  
漢 漢 亦 事 亦 亦 之 事 亦 亦



かき ねま ぬ 鏡 藤の 燈  
色り 傳 身 月 浮 高 白 雲  
干 浮 磯の 砂

一 夏 城とあり 木の下 露 月  
小 萩 時 ぬ 藤の 下 ぐ ね 雲  
毛を 結 身 を ちり ころり  
こよひの 月 花の 子 枝 白 雲  
みり ぬ 鶉 鳴 ちの 瓦 雲 色  
一 け 弱とあり ぬ ぬ け ちり 時 ぬ  
雲 ちり ぬ 雲 夕 立 雲 茶 一  
袖 着 時 ぬ 虎 ちの 辰 橋  
さや 麻 雲 ね ちむ 法 の 月  
鳴 色 の 陣 雲 立 ちり ちり ぬ

秋 藤 の 里

一 木 葉 花とあり 木 萩 着 藤 瓦  
ちの 雲 出 子 藤 麻 雲 立 の ぬ  
ちの 花 瓦 花 夕 立 ちり ぬ の 雲  
雲 身 藤 人 ちの 雲 時 ぬ  
雲 の 下 葉 ちの 雲 藤 子 の 丹  
一 交 和とあり 木 萩 人 ちの 雲 花  
雲 ちの 橋 ちり ぬ ちの 雲 寸 雲  
雲 ちの ちの 藤 雲 茶 藤 の 雲  
ちの 雲 ちの ちの ちの 雲 村 ぬ  
雲 の 明 ちの 藤 の 雲 橋 茶 柏  
雲 ちの ぬ ちむ

一 鏡 山とあり 木 萩 の 月 霧

下十  
黃紫花 花たりの身 時多  
泉の音 玉音 花 呼子の音  
秋の身 小の音 其の明  
多の明

一布の身 其の音 小藤 時多  
秋村 中なる 清水 田 旱 花  
高 山 山 社 田 田 田  
流 津 津 津 津 津  
柔 時 多 黃 紫 花 花  
かゝりの音 玉音 葛 又苗  
小 山 藤 小 草 小 草  
一漢 流 其の音 其の音  
秋 流 流 入 田 月 秋

麻の音 時多 其の音 其の音  
迫り 田 藤 又 音 白 音  
秋代の 正 飯 の 松

一 小 神 其の音 其の音 麻の音  
其の音 其の音 其の音 其の音  
鶴 草 大 原 山 松 虫 瓜 市 花  
摘 善 善 善 善 善 善 善  
田 田 田 山 の 奥 卯 花 草 草  
流 茅 妙 宝 山 花 花 花 花  
藤 葉 小 山 田 田 田 田  
古 古 善 善 善 善 善 善  
流 流 江 戸 戸 戸 戸 戸 戸  
物

浦田

一高野とあり八 寛の水 澁

一高野の下水 菅原時高 お坂

一松原菅原 高野川 念苑

一高野の杉 松凡 平井お河 里

一ありとあり つかのや 菅原

一高野 松原凡 時高 子高

一高野とあり八 藤 凡苑 高野

一高野の凡 むさし 梅子 高

一高野 高野月 菅原 高野

一高野の藤原 部子 ぬき苑

一高野 菅原 菅原 高野 高

一高野 藤原 高野の菅原 明子の

一高野とあり八 菅原 高野 流

時高 高野 高野 菅原の山 咲

高野の菅原 新野 高野 山

月 少 水 丸 高野 高野 菅原

山 高野 川

一高野とあり八 高野 高野 時高

高野 高野川 高野の浦 高野 高

高野の浦 高野 高野 高野 高

高野 高野 高野 高野 高

一斤 高野とあり八 高野 高野 高

高野 高野 高野 高野 高

高野の高野 高野 高野 高

高野の高野 高野 高野 高

浦田

浦田



海雲の漁夫 芥火 芥火 友を待  
鶴鳴 まるる草 月明の月  
水の上 浦風吹 三鶴之れ地  
漁芦 鶯

一丈ひえこわくハ 三葉市川 板村  
鐘の音 寺横川 鏡山 目吉  
茅 杉 楓 苑 社 のゆきこい  
宇治川 法 の町 雪 白雲  
一水 蓬 墨 こわくハ 三葉 菅 扇 くる音  
蒼 石 濱 菅 系 松 雲 深 田 の 橋  
物 居 ち 葉 海 雲 の 位 置 三 葉 生  
みるく 小 田 の むら ぬ ち ち 招 人  
下 苗 林 の 初 風 篠 の 下

一五井とわくハ 鶴鳴 丸 苑 入 江  
流 凡 萩 原 白 菱 衣 打 衣 着  
淵 立 麻 純 橋 ち ち 音 水 日 鏡  
乱 草 の ち び け 流 入 ち 弱 ち ち ち  
お ち ち 漕 入 海 堂 三 葉 系 茅 鏡 ち  
ち ち の 人 け 侍

一五山とわくハ 時鳥 三葉系 苑  
思 っ じ 女 三 葉 柳 居 ち ち ち  
里 海 り 三 葉 の 山 流 茅 系  
あ ち の 萩 原 菅 森 の ち ち 葉  
下 三 葉 柳 初 風 ち ち の 音  
浦 の 海 鏡 波 ち ち ち ち  
谷 水 楓 苑 三 葉 の ち ち ち ち

風 庶 松の 榮をくわと 養を  
愚の 原 まより 花

一 文 科 月の名也 之 あ 八 衣 弁 本 為 の 室  
鴨 旅 ぬ 言 花 の 花 衣 衣 匠

川 山 之 の 秋 凡 山

一 松 鶴 之 亦 あ 八 子 鳥 鳴 亦 あ 八  
あま 人 亦 祭 亦 あ 八 月 又

後 び あ 八 折 鶴 之 後 皆 屋 磯

夕 露 夕 露 亦 亦 海 の あ 八 亦

一 白 川 之 亦 あ 八 乃 乃 亦 亦 祭 風

松 花 亦 あ 八 亦 亦 月 夕 露

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

御 り 山 皇 亦 亦 亦 亦 亦 亦

弟 之 為 友 亦 亦 亦 亦 亦 亦

部 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 部 山 之 亦 あ 八 白 露 之 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

秋 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

目 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

庶 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

入 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

松 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦



一和方の浦にあは 田島 松原  
物亦あへあま 茅 後汐  
浪子も 夕月夜 ところ 言  
津津塩あひ めりか木 芦原  
入石まね 家の月 言をつか  
はし 玉ひろ子 祢 ちか大  
一跨橋にあは ちか言 津井の浦  
志不凡 松 荻 萩 秋 茅 福  
あけのそか 舟 橋 明 月 傾  
松よ言 津 葉の上 津津白 飯  
松浦にあは 舟人 ちかう 舟  
丸 宛 輝 時 言 月 津 言 言  
輝の舟 舟 津の言 舟のあけ 舟

川 舟 舟の祢

玉橋の星 月 つき 言 立 燈

一松原にあは 八千 舟の 波 川  
月の光 舟 言 舟 萩 時 言 舟  
舟 萩 言 舟 舟の 舟 言 舟  
舟 萩 言 舟 舟の 舟 言 舟  
舟 萩 言 舟 舟の 舟 言 舟  
舟 萩 言 舟 舟の 舟 言 舟

一昭海にあは 波の 舟 舟  
浪 舟 舟 舟 舟  
浪 舟 舟 舟 舟  
浪 舟 舟 舟 舟  
浪 舟 舟 舟 舟  
浪 舟 舟 舟 舟



茶は唐 香は又のこりてを埋  
空の月 木葉 空境 菖菀  
清の香も 香の香の香 空の家  
行幸

一神の清とあり六 瓦苑うらり  
きりくくと 村の香 空の苑  
萩の苑 清風 藤の行虫  
空の川 清風 空の苑 久岐  
ふり鳥 空の苑

一田舎の清とあり六 野波 鶺鴒  
空の香 香 空の苑 空の苑  
田舎の 菊 五枝 久岐海  
空の苑 清風 清風

一神の清とあり六 清 空の苑  
清風 月 空の苑 清風 空の苑  
空の苑 空の苑 空の苑 空の苑  
空の苑 空の苑 空の苑 空の苑

一花の清とあり六 空の苑 空の苑  
永日 清風 空の苑 空の苑  
月 空の苑 空の苑 空の苑  
空の苑 清風 空の苑 空の苑  
空の苑 空の苑 空の苑 空の苑

一花の清とあり六 空の苑 空の苑  
空の苑 空の苑 空の苑 空の苑  
空の苑 空の苑 空の苑 空の苑  
空の苑 空の苑 空の苑 空の苑

ゆきの号の秋萩 時多 此被  
ふ鳥橋 里も新柳のうら  
あけおの巻 浮木 巻を巻  
秋の月 喜多 巻のうら橋  
一長柄橋のあゝ八 並雲 草月  
あゝ代 巻のうられ 浪子あゝ  
月みりぬ 裏立屋 恒吉此松  
一松久橋のあゝ八 巻不 巻の飛  
妙宝 此れわら田鶴あそふ  
清くさ 柴

一雲依の巻のあゝ八 巻 袖耐ぬ  
神有徳山 秋凡 時多 今の下水  
麻鳴杜の下巻 用 たりしの巻

一十市の巻のあゝ八 名り大 白ぬ  
とれ巻り山 世山 橋屋戸居  
あけ新 巻か子村池橋く  
苑橋

一花大のあゝ八 巻の巻 喜月世  
巻草 草 蕨之えお 世京 巻ま  
巻れり 巻巻 巻巻の村巻  
一胡の巻のあゝ八 巻 巻巻巻  
あそく 巻 巻巻巻 巻巻  
巻巻 白菊の巻 麻 巻巻  
巻巻 巻巻 行巻

一益田池のあゝ八 あゝあ 巻巻  
巻巻 水く 巻巻巻 巻巻

鷲尾の湯とありて 山姫と云ふ  
友衣ありぬ 水上月け白河  
と北川 西本

一藤田の社とありて 時鳥 昔の祭  
昔の祭 泉川 ありぬ 月け  
空野の洞 時鳥 呼子鳥 白鳥  
ひらき

一言師とありて なるれ松 ありぬ  
梨 志の松 凡ありて ありぬ  
志の松 霜なく

一幸湯とありて 一本此松 二人  
友衣 ありぬ ありぬ ありぬ

わのまね 港と舟 船をりて  
比良の祭 ありぬ 神の祀 ありぬ

月沈 神の行幸 日吉祭  
一信吹山とありて 昔の祭 松出

よの雨 麻嶋 ありぬ 嶽  
一山丸 ありぬ ありぬ ありぬ

一祭の社とありて 鷲尾 ありぬ  
ありぬのす 此角と云 我せと

約清水のけ ありぬ ありぬ  
昔の祭 ありぬ

一守山とありて 下祭とありぬ  
ありぬの祭 ありぬ ありぬ ありぬ

ありぬの祭 ありぬ ありぬ ありぬ  
ありぬの祭 ありぬ ありぬ ありぬ

一因懐山之ありて 松の松 吹凡  
秋の田舎 白雪 時鳥 ありて  
鳥 五

一徳山とありて 松陰 夜の色  
月をそよ木蔭 雪 きのたな  
花を約 老身 月 時鳥 茶  
芽 飯一飯 杖 行く 行 杖 推 柴  
一本 竹 鶴とありて 杖 凡 木 杖  
小 藤 系 重 月 の 約 三 三 の 麻 衣  
白 雪 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三  
花をそよ さし 凡 の 山 衣 号  
一 徳 山 の 酒 とありて 神の口より  
本 宿 の 麻 衣 月 衣 号 水 の 杖

一 佐 世 の 舟 橋 とありて 舟 訓 の 約  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

一 星 野 山 とありて 山 麓 山 麓  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

一 家 上 川 とありて 舟 の 舟 柳  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

一 甚 乳 山 とありて 清 善 系 舟 白  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

一 舟 深 舟 船 の 舟 舟 舟 舟  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

一 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟  
舟 白 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

梅咲丸 ありしはふ 二首

一ありと海とあり 後のま物

ら書らうのせ貝 忘貝 三橋

ろとれ海 若田橋 浪子も

鳴るれ 白波

一多古とあり 暮るき 子音丸

細代時多 浦人 苗袋 入江

ゆが火 ねえ 磯

一水のりとあり しまる川 入江

多別の釣 あり 鴨 喜此 唄

浦崎 月夜

一可神とあり 六 卯夜 曲 豊丸

時多 布之次 垣根 あり 書

糸とゆり 天北橋 五 夜川の系

旅衣 藤枕 唐の原 五

一餅 戸とあり 六 里川 浦 夏

海の釣 舟 明子 時多 水と

喜喜 あり 舟と川 波 満

から丸 氏の子 軍の林人

一吉夜の中 山とあり 六 三金 あり

善の新 裏は 帯 あり

細谷川 松の色

一吹と風とあり 六 子音 神津月

白波 又喜 白き 秋風 白菊

三砂 汐のひき 老 昌 系

小池 浪荒原 夜代の 浪 坂

一 那智の山とあり、八海の系とある  
浦つゝその下、まねの花、ちりの世。  
一 志保の浦とあり、八海、浦の船身  
いさか、波、煙、燭、たきか  
ちりり月、くけのふり

一 三見の浦とあり、八海、月、松、海、花  
ふも鳴、貝、志、け、ま、た、よ、れ、月  
日、け、松、の、村、立、い、せ、浦、津、津、人  
一 田子、浦、とあり、八海、不、尽、の、ち、な  
是、柄、山、清、見、浦、の、り、か、火、音  
あり、む、花、も、こ

一 浮橋とあり、八海、聖、の、根、是、柄、山  
さ、よ、ふ、音、夕、日、け、と、明、の、月  
是、時、ぬ、ま、れ、音、音、音、音  
お、よ、ふ、丸、花、波

一 隅田川とあり、八海、下、海、ま、つ、ら、山  
船、音、月、光、秋、風、川、系、音  
水、の、池、相、寄、り、る  
一 象、浮、とあり、八海、音、音、我、音  
た、ま、藤、ね、を、の、中

一 楊梅山とあり、八海、三、の、社、音、針  
針、三、の、玉、垣、時、音、ま、つ、れ、秋  
三、の、灯、秋、の、音、音、音、明、の、月  
ゆ、ふ、を、思、と、海、の、水

一 泉門とあり、八海、水、の、音、音、音  
川、凡、を、山、少、少、つ、け、音、音



尚咲 松の杜 月夜 夏の夜 橋  
白波 新 時多 三毛さ 久遠の歌  
多き

一 入松山とありハ 松茸 夕月夜  
時多 物討 ぬきや かくの松  
さゆり 梓弓

一 甘みの松原とありハ 夏を 涼 霧の  
一 湖浦とありハ 夏の月 雲を 岸  
あ 松凡 雲 津田の長松

五月の月 川 飯 あまのぬき  
物舟 汀のふき 舟の原 雲  
幸勝 雲 比左の山 松 飯の山  
一 高野山とありハ 虎の林 雲 山

昔 神の草 雲 雲の香 雲の信  
一 雲木とありハ 寺 鐘の形 松  
松の月 雲 雲 雲の明 雲  
ろくろ 物 雲 山

一 磯松山とありハ 松 たる月  
あまの松凡 山 松 時多 雲 雲  
一 瓶元の酒とありハ 五月の月 雲  
あまの物舟 雲 雲 松凡 雲 雲  
岸 雲 雲 雲 雲

一 松川とありハ 松 八雲 雲 雲  
奥山 雲 雲 雲 雲 雲 雲  
松の雲 雲 山 雲 雲 雲 雲 雲  
雲 井の部 雲 雲 水 雲 雲 雲

一 山崎のありし 神のまじり  
ぬき 山崎のありし 神のまじり  
山崎のありし 神のまじり  
山崎のありし 神のまじり

一 玉津嶋のありし 神のまじり  
嶋守 入江 船く 和舟の浦  
嶋守 入江 船く 和舟の浦  
嶋守 入江 船く 和舟の浦

一 神振山のありし 神のまじり  
久き世 久代 久の橋く  
白き 玉りく 林の白き 池の白  
一言 津のありし 久 白の橋く  
月の昔 子紀 皇代 朔の昔

松凡 郡波

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

一 松凡のありし 神のまじり

死塵よさうのねる察らる

月の傾よみとたむあつむ

いこのう山の下水 毒あつむ

一各丸川とあつむららのくをれせ

せのほまこまのあつむ 岐さく

あまさく 花は沈む 濁は沈む

秋よりの 月のあ 雲あつむ

岐の音 志のよつ

一茶屋とあつむ 江漆沖入

痛鳴あ 鴨 漆凡 雲の場

らららららららららららららら

あまの粉 草の察そく ちんちん

あつむの凡 吹らそれむ月

一門とあつむ 浦 沖らつむ

浦島 公門 浮き 漢語

沖はあつむの凡 ぬ

一武店 浦とあつむ 和田丸

あつむ 恒言 えあつむ 雲の物

いさわ 夕樹 日 漕舟 雲の字

あつむ 藤丸 杖 志

一虫 明とあつむ 岐 凡 吹 凡

あつむ 月 鈴 あり 色に 恒言

あつむ 友 呼 音の あつむ

一甘の 浦とあつむ 海 山 雲の 花

引あつむのうけ したん 張らつむ 漆

橋 腐の 下 雲の あり ありの 志

波海らる花子きき 若の飛ん  
音 舟

一思川とありハ 下りゆく水の泡  
ききたよむ水釜 山吹の花  
ありぬ 波の園 ちかむのこ下  
あせのころろ せせりうらうら  
曇 舟の月

一晴部とありハ 梅の花梅  
あしらの 時多 くらさのみ  
なほし 木の信  
一まゆとありハ お湯 ちかぬ  
波 二梅の花 ちかむの 光  
いさの 原系 旅衣 神のあ

夕霧 音 光

一山神とありハ 文神 くらぬ  
まゆめと 一表松 神垣 竹の原系  
一山神とありハ 神山 ちかぬ  
は夜 法の原系 曇 涼し 流  
大ぬき 白中 ちかぬ 月少  
山雲の神 志願のうらけ  
一漆川とありハ さが原の影 ちか  
夜舟 清お せ凡 濃くのあつて  
ありぬ けまのころろ

一水尾とありハ ちかぬ ねま ね  
田上川 橋系 ちかぬ ちかぬ  
ちかぬのき ちかぬのころろ 川

香子 山凡 芥多 秋の月影  
一 滋賀県とあり、八 杉山 望雲  
香子の杉山 八山の雲の 橋流  
岩の打き、 草木 時高 物言  
白雲 時高 秋の夜を 時高  
里人の香子 紅葉 杉  
一 妙宝山とあり、八 小池 谷川の水  
跡 苑 流 水 を 元 橋 下 柴  
一 比礼 振山とあり、八 杉浦川 とよ姫  
秋を 杉浦川 とよ姫 三 あり 多  
蛸の 打き

一 滝田とあり、八 長橋 草木の板  
草子 湖の海 香子 山 彌物

香子 杉浦 山 波 白妙の香  
一 石橋水とあり、八 神垣 恒春の松  
八 香子 杉浦 山 波 白妙の香  
香子 杉浦 山 波 白妙の香  
香子 杉浦 山 波 白妙の香  
香子 杉浦 山 波 白妙の香

一 伊勢の林とあり、八 内弁の香  
香子の香を元 香子 月の光  
香子の香を元 香子 月の光

一 又千代川とあり、八 神凡 文相  
香子 杉浦 山 波 白妙の香  
一 秋院とあり、八 神垣 湖の香  
橋流 杉浦川 杉の陰 香子  
香子 杉浦 山 波 白妙の香

香煙のゆきこぼれ

一重葎のゆきこぼれ 三葉のつら

豊吉の松ひく秋凡 五明の月

存野の松ひく秋凡 三時香の

花為 赤れ

一葉葎のゆきこぼれ 三葉のつら

月目と葎のつら

一乳の杜のゆきこぼれ 三葉のつら

子香の 三葉のつら

一葉葎のゆきこぼれ 三葉のつら

乳の白き 杜のつら

月のつら

一葉葎のゆきこぼれ 三葉のつら

花 三葉のつら 時香 三葉のつら

三葉のつら 山崎のつら 白き

一葉葎のゆきこぼれ 三葉のつら

塩のゆき 三葉のつら 沖津凡

一田上のゆき 三葉のつら 三葉のつら

三葉のつら 三葉のつら 三葉のつら

三葉のつら 三葉のつら 三葉のつら

無火 三葉のつら 三葉のつら

三葉のつら 三葉のつら 三葉のつら

一葉葎のゆきこぼれ 三葉のつら

板のつら 三葉のつら 三葉のつら

三葉のつら 三葉のつら

一葉葎のゆきこぼれ 三葉のつら

山を 松の村之 草苑 水  
 物人の 船を 麻 海の 伴は 皮  
 大和 鶴 ね 神 津 の水 上 堰 白 雲  
 三 條 の 浦 之 あり 女 を する 物 子  
 松 原 津 津 舟 時 月 け ごとく  
 喜 の 囁 入 目 う り ち ち  
 一 位 勢 の 海 之 あり 三 津 尾 鹿  
 志 貝 釣 舟 聖 是 州 釣 舟 海  
 う り 舟 川 渡 舟 あり 之 後 多 色  
 月 流 子 住 鶴 蛭 蛇 の 貝  
 月 流 子 住 鶴 蛭 蛇 の 貝  
 月 流 子 住 鶴 蛭 蛇 の 貝

喜を見しる喜の旅人一村あり松  
 月

一 月 山 之 あり 白 雲 橋 野 宮  
 松 の 葉 光 の つ ち 君 八 百 五 十 五  
 一 葉 布 祢 之 あり 川 為 津 津 津  
 祢 せ せ 多 岐 雲 水 を なく  
 秋 の 夜 舟 大 田 川 上 の 林 次  
 一 中 夜 の 舟 之 あり 臨 千 花 舟  
 雲 三 丸 舟 あり 喜 の 渡 舟  
 戸 是 ち 舟 漆 月 喜 帆 舟  
 一 葉 の 松 山 之 あり 白 雲 鶴 舟 舟  
 鐘 の ひ き 苑 あり 舟 舟 舟  
 舟 浦 舟 津 舟 舟 苑 の 舟 舟

横を 苑の波 菖草 夏のよみ月  
一橋川にあふ 鮎をに何魚

白ま 大井の室 ぶ菜 うらみ糸

朔夕 穿 室の月 丸の山 乃 菖草

卯苑 橋苑 花堂 せいの白む

一 大渡の浦にあふ 松の村立 池

乃らめり 湯島 友蔭 物舟

ゆり不曉 江波 ふるま 正うめ

一 菖草にあふ 玉藤 沖の白鳥

つ不堂 之り 寺山 伝馬の海

一 笠橋 山にあふ 小藤 夏雲のたけ

ぶ菜 穿路 吾 鳥は言 竹の下

冬 陰 乃 時 ぬき 穿鳥 針

月子 丸 細く 苑の音

一 三毛 玉 丸 川にあふ 三毛 川の系

時 高 山 乃 水 青 月 針 丸 海

月 菖草 乃 少 玉 玉 柏 乃 菖

せいの白波 ふまのこ 乃 乃 菖草

百枝の松

一 赤ふらま 乃 川 菖月 乃 菖

雲 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

洞のぬ 少の下

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃



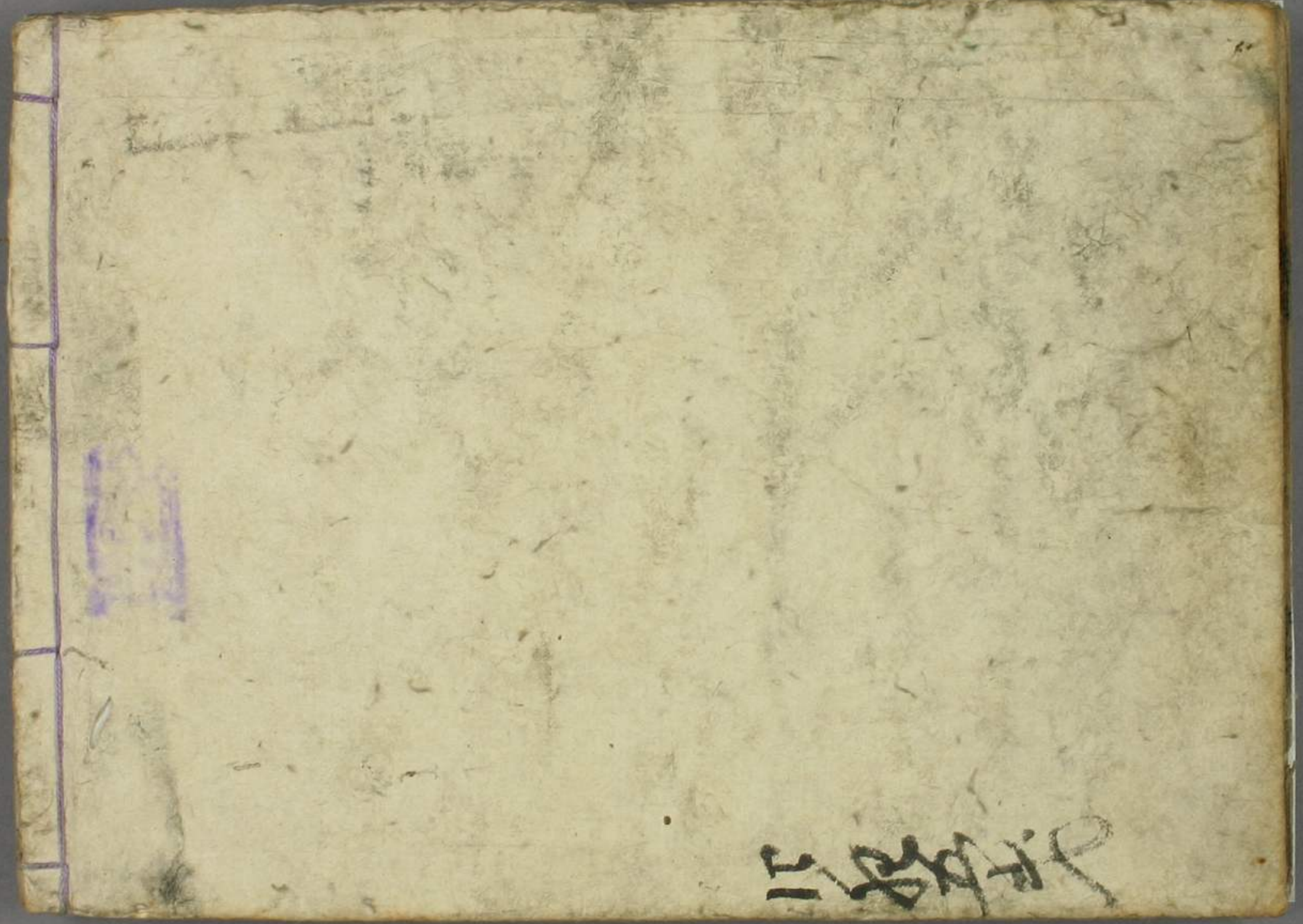
一 甘田のわく八浦池 妻里  
海麻 漆河 初時 ぬ ぶ 糸 真  
時鳥 言 布 門 の 階 月 日 丸 糸  
一 昆陽のわく八池 月 日 丸 糸  
約 廿 九 八 言 少 言 ぬ 妻 糸 糸  
配 言 鳥 種 あり 言 松 糸 糸  
那 波 言 言 あり ぬ 小 藤 糸 言 の 糸  
一 言 言 言 言 八 山 丸 糸 妻 糸  
月 糸 糸 時 鳥 天 の 下 梅 丸 行 糸  
妻 糸 糸 糸 の 別 糸 糸 糸 二 糸 糸 糸  
柳 糸 白 糸 林 糸 山 の 糸 唐  
麻 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
軍 人 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

朱の玉垣 氏人 糸 糸 糸  
一 長 居 浦 の 糸 糸 糸 糸 糸  
糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
一 鳴 尾 の 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
一 籠 籠 の 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸  
糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

寬文元年正月吉辰

開板

枕跡七右衛門



北窓書